

国内・海外

○印：国内関係 ☆印：海外関係

3日(金) ☆ 米就業者、15万7千人増

米労働省が7月の雇用統計を発表。景気動向を反映しやすいとされる「非農業者部門の就業者数（速報値、季節調整済み）」は、6月より15万7千人増えた。

9日(木) ○ 6月の機械受注8.8%減、2カ月連続マイナス

内閣府が6月の機械受注統計（季節調整値）を発表。民間投資の先行指標となる「船舶・電力を除く民需」の受注額が5月比8.8%減の8,276億円となり、2カ月連続でマイナスとなった。

10日(金) ○ 4~6月期GDP、年率1.9%増

内閣府が18年4~6月期の国内総生産（GDP、季節調整済）1次速報値を発表。物価変動を除いた実質で前期（1~3月期）比0.5%増、年率換算で1.9%増となった。プラス成長は2四半期振り。

16日(木) ○ 7月の貿易収支、2カ月振り赤字

財務省が7月の貿易統計（速報、通関ベース）を発表。輸出から輸入を差し引いた貿易収支は2,312億円の赤字だった。輸入の伸びが輸出を上回り、2カ月振りの赤字となった。

31日(金) ○ 7月の有効求人倍率1.63倍、44年6カ月振りの高水準

厚生労働省が発表した7月の有効求人倍率（季節調整値）は、6月比0.01_{ポイント}上昇の1.63倍だった。1974年1月以来、44年6カ月振りの高水準。

県内・九州

★印：県内関係 ●印：九州関係

7日(火) ● 百貨店・スーパー販売額、2カ月振り増加

九州経済産業局が発表した6月の九州・沖縄の百貨店・スーパー販売額（速報値）は、全店ベースで前年同月比1.8%増の1,210億円となり、2カ月振りに増加した。

8日(水) ● 九州の街角景気、3カ月連続悪化

内閣府が7月の景気ウォッチャー調査を発表。九州の街角の景気実感を示す現状判断指数（季節調整値）は、6月比0.8_{ポイント}低下の44.0と3カ月連続で悪化した。50を下回ったのも3カ月連続。

9日(木) ● 九州鉱工業指数、2カ月連続低下

九州経済産業局が発表した6月の九州の鉱工業生産指数（2010年=100、季節調整済、速報）は、5月比3.6%減の105.6となり、2カ月連続で低下した。

24日(金) ★ 公正取引委員会、FFGと十八銀行の経営統合承認

公正取引委員会が、ふくおかフィナンシャルグループ（FFG、福岡市）と十八銀行（長崎市）の経営統合計画を承認したと発表。

31日(金) ★ 7月の県内有効求人倍率1.28倍、29カ月連続で1.1倍以上

長崎労働局が発表した7月の県内有効求人倍率（季節調整値）は、6月比0.02_{ポイント}上昇の1.28倍だった。3カ月連続の1.2倍台、29カ月連続で1.1倍以上（過去最高）、34カ月連続1.0倍以上。